

本市のみどりの課題検討フロー

1. みどりを取り巻く状況の把握

- 1-1 社会情勢の変化
 - 市民協働、みどりの利活用・運営等、みどりのマネジメントの必要性
 - ・少子高齢化社会、人口減少、集約型都市構造の実現に向けた取り組み、価値観の多様化、
 - ・今後の都市公園やオープンスペースのあり方に関する動向
 - ・多様な主体による協働、共助による地域づくりに関する動向
 - 身近な地域から地球規模まで環境志向の高まり
 - ・環境・防災問題への対応、生物多様性の保全に関する動向
- 1-2 関係法令、上位計画等におけるみどりの位置付け
 - 民間活力を最大限活かして、緑・オープンスペースの効果的な整備・保全の推進、緑豊かで魅力的なまちづくりの実現を目指した法令・計画に関する動向の把握
 - ・都市公園法、都市緑地法、生産緑地法等の改正、都市の低炭素化の促進に関する法律
 - ・東部大阪都市計画区域マスタープラン、みどりの大阪推進計画、淀川流域（淀川河川公園）の動向
 - 都市農地のマネジメントによる有効活用と適切な保全の必要性が示されている。
 - ・都市農業振興基本計画、新たなおおさか農政アクションプラン
- 1-3 本市のみどりの動向
 - 魅力と活力にあふれる元気都市の視点からみどりの動向の把握
 - ・寝屋川市人口ビジョン、寝屋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略、第五次寝屋川市総合計画後期基本計画、寝屋川市都市計画マスタープラン、寝屋川市環境基本計画、寝屋川市立地適正化計画、寝屋川市産業振興条例
 - 公園施設の長寿命化等に関する動向の把握
 - ・寝屋川市公共施設等総合管理計画

2. 本市のみどりの現状

- 環境保全（生物多様性や歴史文化など）、レクリエーション、防災、景観、市民の参画と協働の視点から現状を把握
- 2-1 みどりの現状 緑地面積は、本市の15%を占める。みどりの分布について、東部丘陵地に分布するみどりは、本市の骨格的なみどりとして存在する。
 - 2-2 地形・地質・水系、2-3 植生、2-4 生態系保全に係るみどり 河川・水路等のみどりは、生物の生育・生息環境や貴重種が自生するみどりとして重要な存在である。
 - 2-5 都市公園、2-6 学校グラウンド、庁舎、供給処理施設など みどり少ない市街地において、住区基幹公園、学校グラウンド、公共施設などは市民が身近にふれあえるみどりとして重要である
 - 2-7 農地、森林等 東部丘陵地に残る樹林地や生産緑地などの農地は、市内に残存するまとまったみどりとして市内に存在している。
 - 2-8 歴史文化資源（古墳、社寺仏閣、文化財等） 歴史文化資源と一体となった貴重なみどりが存在する。
 - 2-9 水とみどりのネットワーク ヒートアップネットワークとレクリエーションネットワークの両方の機能を有する水とみどりのネットワークが存在する。
 - 2-10 土地利用 商業・業務地、住工混在地、住宅地、過密住宅地などの多様な土地利用が存在する。
 - 2-11 防災 災害時において、みどりは、広域避難地、一時避難地、緊急交通路や避難路などに利用される。
 - 2-12 景観資源 モデル景観の形成に向けて、その構成要素となる重要なみどりが存在する。
 - 2-13 協働の取組 市民協働によるみどりの管理運営のきっかけとなる取組が存在する。

3. 現行計画における取り組みの実績

- ①みどりの指標について 市街化調整区域内農地などの地域性緑地が大きく減少
- ②緑の保全及び創出について 市民ワークショップによる計画づくりを踏まえたみどりの保全及び整備を推進
- ③緑化推進について 緑化推進に加え、みどりの利活用・運営に関する市民主体の取り組みへの展開
- ④緑の普及について 「市民参加による計画づくり」と「市民協働によるみどりの管理運営のきっかけづくり」を推進
- ⑤緑化重点地区について 土地利用や施設などの特性に応じた緑化モデル優先地区における緑化を推進

4. 市民意識の把握

- みどりの量・変化について 取り組みは進めたが、市民の「みどりが増えた」という実感は十分ではない
- 印象的なみどりについて 大規模公園、河川の水辺、サクラ並木などの街路樹が印象的なみどりとして捉えられており、増やすべき・守るべきみどりと考えられている。
- みどりに対する期待について 市民の生活環境の改善や、安らぎや憩いの場の創出、豊かなまちなみ形成が期待されている。
- 公園の利用状況について 利用しない市民が約4割を占めており、その理由として魅力的な公園が少ないと感じている。散歩やジョギング、風景観賞等で利用する市民が多い一方、地域活動の場としての利用は比較的少ない。
- 公園への要望について 自然資源の充実、健康づくりや休憩などの日常的な利用の視点から、多様な機能の充実が求められている。
- みどりに関する活動の認知度について みどりに関する活動が、市民に十分に認知されていない。
- みどりに関する活動への参加意欲について 身近な場所での緑化活動について、参加意欲がみられる。
- 必要な行政支援について みどりに関する活動をPRする取り組みをはじめ、みどりづくりに係る資材や場所の提供が求められている。

5. 寝屋川市のみどりの課題

- | | |
|------------|---|
| みどりの保全 | <ul style="list-style-type: none"> ①淀川（淀川河川公園） <ul style="list-style-type: none"> ○自然・歴史・文化が色づく空間としての維持保全、など ②河川・水路 <ul style="list-style-type: none"> ○貴重な生物の生育・生息環境としての水辺空間の保全 ③東部丘陵地など市内に残存する樹林地 <ul style="list-style-type: none"> ○生物多様性が確保された貴重な樹林地、歴史資源と一体的な樹林地景観の向上、など ④大規模公園等（総合公園、広域公園、特殊公園、治水緑地） <ul style="list-style-type: none"> ○広大な自然環境保全をはじめとする多様な機能を有するみどりとして保全 ⑤社寺林・保存樹 <ul style="list-style-type: none"> ○歴史資源等と一体となったみどりの保全、など ⑥旧集落地のみどり <ul style="list-style-type: none"> ○歴史文化漂うまちなみへの展開 ⑦歴史街道など <ul style="list-style-type: none"> ○歴史・文化漂うまちの雰囲気づくり ⑧良好な住宅地のみどり <ul style="list-style-type: none"> ○良好な住宅地におけるみどりの保全 ⑨農地 <ul style="list-style-type: none"> ○生産緑地地区や市街化調整区域農地の保全、など ⑩ため池 <ul style="list-style-type: none"> ○ため池の減少及び多面的な機能の質の確保 |
| みどりの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ①大規模公園等（総合公園、広域公園、特殊公園、治水緑地） <ul style="list-style-type: none"> ○本市の魅力高めるみどりとして市民の多様なニーズへ対応、など ②都市公園等（住区基幹公園、その他都市公園、ちびっ子広場） <ul style="list-style-type: none"> ○都市公園等のマネジメントの検討 ③学校グラウンド、公共施設等 <ul style="list-style-type: none"> ○学校グラウンドなどにおけるみどりづくりの推進、など ④緑道（友呂岐緑地など） <ul style="list-style-type: none"> ○人々の交流を促すみどりとして充実 ⑤幹線道路とその沿道地のみどり <ul style="list-style-type: none"> ○街路樹などによるみどりの保全と創出、など ⑥河川・水路 <ul style="list-style-type: none"> ○水辺とふれあう空間の充実、など ⑦住宅地（全般）のみどり <ul style="list-style-type: none"> ○住環境の改善と合わせたみどりの環境形成、など ⑧商業・業務地のみどり <ul style="list-style-type: none"> ○人が集まる空間としてみどりを充実、など ⑨住工共存地のみどり <ul style="list-style-type: none"> ○工場敷地等のみどりの充実・活用、など |
| みどりの創出 | <ul style="list-style-type: none"> ①都市公園等（住区基幹公園、その他都市公園、ちびっ子広場） <ul style="list-style-type: none"> ○長期未着手の都市計画公園における必要性の検討 ②密集住宅地のみどり <ul style="list-style-type: none"> ○オープンスペースの確保、など ③まちづくり計画におけるみどり <ul style="list-style-type: none"> ○計画的なまちづくり事業や景観計画等と連携したみどりの創出 |
| みどりのネットワーク | <ul style="list-style-type: none"> ①水辺空間や歴史街道を活かしたネットワークの充実 <ul style="list-style-type: none"> ○河川等のつながりを踏まえた水辺環境のネットワークの充実、など ②主要な幹線道路によるネットワークの充実 <ul style="list-style-type: none"> ○主要な幹線道路によるネットワークの充実 ③サクラ街道による新たなネットワークの創出 <ul style="list-style-type: none"> ○サクラ☆プロジェクトの推進によるみどりのネットワークの形成 |
| 協働のみどり | <ul style="list-style-type: none"> ①市民等との協働によるみどりづくり <ul style="list-style-type: none"> ○市民等との協働によるみどりづくりの充実 ②企業との協働によるみどりづくり <ul style="list-style-type: none"> ○みどりを通じた地域への社会貢献のしくみの検討、など ③学校法人等との協働によるみどりづくり <ul style="list-style-type: none"> ○学校法人等と連携した地域の拠点となるみどりの創出 ④多様な主体との連携によるみどりづくり <ul style="list-style-type: none"> ○多様な主体との連携を図るしくみの検討 ⑤みどりの普及・啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ○桜などのみどりを活用したシティプロモーションなど、市の魅力や都市格の向上、など |

6. 改定の視点

- 改定の視点① **本市の骨格的なみどりを引き続き保全・活用**
- 改定の視点② **公園緑地などの施設緑地に加え、地域制緑地など身近なみどりの拠点を充実**
- 改定の視点③ **土地利用状況などに応じたみどりの充実**
- 改定の視点④ **桜街道や水辺、歴史文化資源など、特徴的なみどりを活用したネットワークの形成**
- 改定の視点⑤ **協働によるみどりのまちづくりの取組を広げるしくみづくり**